

第2510地区 第11グループ



2011~2012

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2011~12年度
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために



Reach Within to Embrace Humanity

2011~12年度
国際ロータリー会長

カルヤン・バネルジー

Kalyan Banerjee

藤田正男 会長 テーマ —— こころから、心へ、すべてに感謝し、喜びを分かち合おう ——



4月24日 移動夜間例会「七飯RC合同例会」

《第2335回例会》 第40号 5月9日(水)

本日のプログラム

「新入会員卓話」

斎藤 秀司 会員

★会長 藤田正男

★幹事 小河博保

例会場：函館国際ホテル
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30

〒040-0064 函館市大手町5-10
事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F

TEL23-5151
TEL23-3870

航空・宿泊パック、JR・宿泊パックなど
多数の割引パック商品もございますのでお気軽にお尋ね下さい。

トラベルサービスはこだて

〒040-0072 函館市亀田町 5-33

TEL. 44-0088 FAX. 45-7100

(広告掲載：小河 博保 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

【5月8日現在のアクセス数：12890件 (+39件)】

◎4月11日出席報告 (中川 洲平 委員長)

会 員	25名	出席率対象会員	25名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	19名	当日欠席	6名
他クラブ出席	5名	出席合計	24名
出席率		96.00%	

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・5月16日
プログラム

市役所出前講座「函館大火について」

函館市消防本部 当直司令長 蛭名 健氏

4月24日の記録

◎司 会 宮村 拓郎 七飯R.C.会長 ◎齊 唱 我等の生業、四つのテスト

◎ビジター 米山奨学生 楊 碩 (ヨウ セキ) さん (世話クラブ 七飯RC)
七飯R.C.宮村会長夫人、工藤幹事夫人、上野夫人、山内夫人、菅原夫人
函館北R.C.藤田会長夫人、森 夫人、増田夫人、弗田夫人、鶴喰夫人

◎会長報告

宮村 拓郎 七飯RC会長

- 七飯RCは会員数が少なく小さいクラブですが、創立42年になります。
昨年の合同例会の時、「これからは一年毎に交代で」との話がありましたので今年はこちら大沼プリンスで開催します。今宵一晩楽しんで下さい。
- 藤田 正男 会長
- 今日、出席を楽しみにして来ました。このホテルは自然に囲まれたすばらしい会場です。楽しい合同例会になりますように。

◎幹事報告 小河 博保 幹事

- 函館東RC、5月1日(火)自主休会です。8日(火)は移動例会に変更です。
- 北斗RC、例会場(函館スパビーチ)が工事のため、5月24日(木)から6月28日(木)まで閉鎖になります。メイクアップの受付は出来ませんのでお知らせします。

◎親睦活動委員会 増田 定雄 委員長

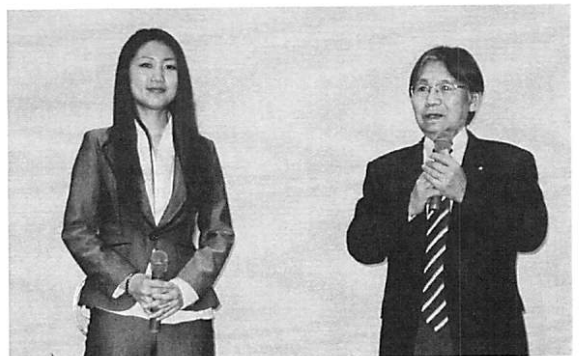
ニコニコBOX投入報告

藤田会長・小河幹事・森 会員・増田会員・弗田会員・山下(清)会員・石橋会員
鶴喰会員・齊藤(紀)会員……七飯RCとの合同例会楽しく。
中川会員……明日からの丸井デパートの催事の盛況を祈ります。

◎移動夜間例会 「七飯RC合同例会」 於 大沼プリンスホテル

恒例の七飯RCとの合同例会が七飯RCのホストで大沼プリンスホテルにおいて開催されました。当クラブからは会員11名、夫人5名が参加、ビンゴゲーム等も行われ、楽しい合同例会となりました。

七飯RCでは米山奨学生を受け入れることになっており、奨学生も合同例会に出席されておりました。また、当クラブも米山奨学生を受け入れますので、ここで米山記念奨学事業について簡単に説明いたします。



七飯RCでお世話をする米山奨学生の楊 碩さんと
カウンセラーの上野会員

米山記念奨学事業

'52年11月、日本ロータリーの創設者米山梅吉氏の功績を記念して、東洋諸国の学生を日本に留学させる東京クラブ奨学事業「米山基金」が企画され、'53年に発足した。今は、全国クラブの支持を受け、'67年に財団法人米山記念奨学会となり、現在は世界中から多くの留学生を受け入れている。

• 特長その1 世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生一人ひとりに対して、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、ロータリーとの交流の起点となります。さらに、世話クラブの会員の中から「カウンセラー」が付いて日常の相談役となり、留学生が安心して留学生活を送れるよう配慮しています。

• 特長その2 日本最大の民間奨学事業

年間の奨学生採用数はおよそ800人、事業費は14.3億円と、国内では民間最大の奨学事業です。これまでに支援した奨学生数は、累計で16,389人、その出身国は、世界120の国と地域によびます。

• 2510地区では18人の留学生を世話しており、10・11グループで3人来ております。

